



# 信太の森ニュース

No. 24

2016年8月31日



6, 7月はネザサとクズの成長が早く、刈りとった広場はあつという間にネザサに覆われました

昨年秋から切り開いていた信太山丘陵市有地内5号線西側の草地復元予定地では、4月頃にはヒメウズ、ハナイバナ、スマレなどが沢山咲きました。長い間ネザサやクズなどに覆われて眠っていた野草たちが一斉に目を覚ましたのです。

それらの花が終わり、その種が落ちる頃にはネザサ、クズが成長して、7月の中旬の公園協議会作業日(3日)には、既に膝上まで伸びてしまい、それらの野草たちを覆ってしまいました。ネザサを刈りはじめた昨秋からタヌキが頻りに姿を現していましたが、そのタヌキもネザサが伸びるとともに姿を現さなくなりました。姿を見たという人もあるので、ネザサで見えなくなったのでしょうか。

それにしても、ネザサ、クズの成長の早さには驚きです。この前刈ったばかりなのにまた草刈です。少しうんざりしますが、暫くはネザサ、クズとの闘いになるでしょう。

惣ヶ池湿地については、5月、7月(予備日ともに)と雨にたたられて作業が進みませんでした。外周柵の取替え工事も資金の入金待ちや杭の入荷が遅れたことで、8月からやっとはじめたばかりです。

4月の作業はスイレンの掘り取り作業。作業をしているとウグイスの囀りが惣ヶ池湿地の谷間に響き渡るなか、それとは別に聞きなれないキョッ キョッ キョッ・・・キョキョキョキョキョ・・・という鳴き声も。これはヒクイナの鳴き声です。3月下旬頃から惣ヶ池湿地で鳴き声をよく耳にしていたので繁殖するのではと期待していました。7月29日、親鳥が出てきた近くでピヨピヨという鳴き声を聞き、繁殖間違いなしと確信しました。その親鳥を見た直後、同じ場所でヒクイナ同様絶滅危惧種のキイトンボが飛んできました。惣ヶ池湿地では初確認です。この日は珍しいもの二種を同じ場所で確認できた幸運な一日でした。

NPO法人 信太の森FANクラブ  
事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202  
電話 0725-45-7357  
E-mail [tamahati@amber.plala.or.jp](mailto:tamahati@amber.plala.or.jp)

## 公園協議会総会開催される

5月15日（日）公園協議会の平成28年度総会が和泉市コミュニティセンターで開催されました。

昨年度事業報告としては、キック・オフ・イベントのほか8回の保全活動を実施し、一般市民を含めて245名が参加したこと。安全管理講座、保全活動養成講座を実施したこと。FANクラブが講師を引き受けた観察会（7月）及びトラスト協会と共催で行ったカスミサンショウウオ観察会を実施したことなど全体報告を市の担当者が行った後、環境保全課より委託された①科学的実験及び研究業務について（大阪府大）、②現地自然環境資料等の整理業務について（当FANクラブ）、③安全管理講座等の実施補助業務について（自然館クラブ）受託先3者がそれぞれ報告を行いました。

平成28年度事業としては、①企画運営会議を3回乃至4回実施。②現地保全活動（高木等会員で対応しきれないものは市の事業として業者委託）の実施、③安全管理講座開催による保全知識・技術の向上、④自然観察会を年2回開催（第1回目9月頃）予定などが提案されたほか、これらに関連する市の事業として、都市計画決定並びに整備に向けて、公園整備計画の検討をコンサルタントに委託し、その検討内容は公園協議会に諮ること、保全手法の検討についても事業者へ業務委託し、公園協議会に諮りながら展開していくことが提案され、了承されました。

総会に続き開催された企画運営会議では、市有地公園予定地を貫通する市道信太5号線について、道路河川室担当者より説明がありました。

①団地からS字カーブ辺りまでの線形については、前回意見があったA案をベースにC案との折衷案としたこと。②S字カーブ部分のボーリング調査結果について、地下水位が-5.0～-6.44mのところであり、道路工事による影響は

ないこと。③信太5号線と山の谷2号線の交差点（蔭涼寺側）の道路拡幅について、自衛隊等と協議を行う予定であること、要望のあった交差点付近のエノキ、ムクノキの大木は保存するとの説明がありました。

この説明に対し、市有地ゲート辺りから蔭涼寺までの拡幅について、道路拡幅のために市有地を削るのではなく、公園として有効利用してほしいこと。現歩道を活かすよう自衛隊と強力で交渉してほしいなどの意見が出されました。

## 市の業務委託先、㈱ヘッズに決まる

昨年度、信太山丘陵市有地関係業務を市が業務委託するコンサルを募集したところ応募がなかったために、その一部を公園協議会メンバーである信太の森FANクラブといずみの国自然館クラブ及び大阪府大に委託されました。今年度は、予算を増額して募集したようですが、大阪市北区に本社を置く㈱ヘッズに委託先が決まりました。

㈱ヘッズのホームページによれば、公園・緑地等の調査・計画・設計・施工管理を主業務としており、市民参加型公園づくり、緑化フェア等みどり関連イベント企画、運営にも携わり、公園の指定管理者としても活動している」とあります。

7月7日、㈱ヘッズ担当者数名を市の要請により市有地内の案内をしたところです。

7月10日の公園協議会保全作業日から担当者数名が参加し、保全作業の様子を観察していました。



公園協議会保全作業に参加したみなさん

## 6月の観察会・ガールスカウトから25名が参加

6月22日の観察会は、ガールスカウトから低学年親子25名の参加があり、会員を含めて総勢33名の観察会になりました。会員の話に子ども保護者も自然の生きものとの触れ合いに興味を示してくれました。この日は、有線TVのJ-COMからの取材申し入れがあり、子どもたちの賑やかな観察会の様子を取材してくれました。久々に活気のある観察会になりました。これが縁でお一人会員になっていただきました。

なお、J-COMの取材は、6月30日11時から地域の話題として放送されました。



ガールスカウト親子の観察会

## 初の夕暮れ観察会に13人が参加

惣ヶ池湿地には夕方に咲きはじめる花があります。それは、絶滅危惧種の水オトギリという植物です。いつもの観察会では閉じた様子しか観察できません。その植物の開花を会員みなさんに是非観て貰おうと初めての試みですが、夕暮れ観察会を8月18日に開催しました。

その模様を参加者に投稿して戴きました。

### 「夕方の観察会」に参加して

連日猛暑が続きます。このように暑くてはクーラを利かした家でオリンピック観戦ですか……。この猛暑の中、信太の森FANクラブより粋な計らいで「夕方の観察会」があ

り参加しました。

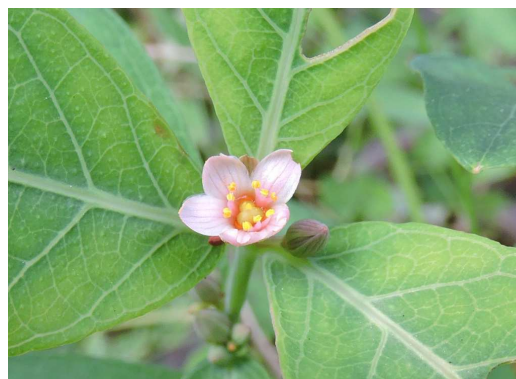
時間帯が夕方で昼間よりは多少は涼しいのではと期待したのですが、この日は風もなく暑かったです。今回の観察会の目的は夕方にしか咲かない絶滅危惧種の「水オトギリ」の花です。

集合地は惣ヶ池公園で、時間は16時45分です。集合地に行きますと参加者は13名と思ったより多くてびっくりしました。

惣ヶ池湿地へ向かいましたが、道沿いには野草では「メドハギ」、「コガンピ」、昆虫では信太山丘陵でしか見かけない「ムラクモカレハ」の幼虫に出会いました。

惣ヶ池湿地では目的の「水オトギリ」に直面です。咲き初めなのでしょうか一部開きかけの花が目につきましたが、ほぼ開いている花もありました。花の色はピンク、中には白っぽいもありました。私の撮った写真は下記です。

湿地には「コバナノワレモコウ」が咲き始めていました。また、「タチカモメヅル」がきれいに咲いていました。「アギナシ」の花は夕



夕方に花開く水オトギリ

方には花を閉じて残念でした。

帰り道、湿地からの坂道沿いで「キキョウ」の花に出会いました。今回の観察会は1時間ばかりでしたが、この時期ならではの花等に出会い楽しめました。定例の観察会以外のこのような企画もなかなかいいですね。有難うございました。（吉原規明 記）



## 雑感：珍しい生きもの

絶滅危惧種のヒクイナとキイトンボのことを本号のはじめに書きましたが、5月にも二種類の絶滅危惧種が同日に確認されるという似たようなことがありました。

5月7日「信太山丘陵にギンランはあったかなあ」と会員の三輪さんからの電話に「いやー、無いけど」と応えて三輪さんが待つ場所へと向いました。

目指すギンランから100mもない手前で尾の長あーい昆虫を見付けました。それは、ウマノオバチ（メス）という尾の長さが体長の7倍ほどもあるハチの仲間でした。こんな珍しい虫を見たのは初めてです。

ギンランもすぐ近いところにあり、いつも観察会を通る道端にありました。この二種もこの丘陵では初確認ということになります。会員の吉原さんにウマノオバチの話をするると「この丘陵で見たことありますよ」との返事。吉原さんの話から、みんなの確認記録（信太山丘陵の）をFANクラブとして纏め、記録を残していく必要があるように思いました。



## ウシガエルついに捕獲

惣ヶ池湿地の池ではウシガエルが増えていきます。これは雑食性で、この湿地ではカスミサンショウオウ（幼生）への影響が心配されることから3年前からその駆除を始めました。しかし、捕獲できたのは、そのオタマジヤクシばかりで成体は皆無でした。

今年は成体捕獲をとカニ網を入れましたが効果がなく、諦めてそのまま放置していたのですが、カニ網を片付けようと引き揚げたところ、体長7cm位のウシガエル2匹と同長のザリガニ3匹がかかっていました。ついに捕獲成功。

## 一口メモ

夏の花

○オニユリ（鬼百合） ユリ科/ユリ属

人里近い山野に自生する多年草。中国原産か。地下に白いりん茎（ユリ根）があり食用になります。茎は直立紫褐色を帯び、葉は緑色で厚く無柄。葉の付け根に黒紫色の球芽（ムカゴ）をつけます。ムカゴは後落ちて発芽します。

花びらは強く反り返り、内面に多くの黒紫色の点があり蜜標と呼ばれています。夏の季節に似合う花。種は付けません。

ユリの語源は、大きな花が風に揺れる姿からゆれる→ゆらり→ゆり と変化したという一説もあります。

写真は、信太山丘陵で、クズのつるに覆われながらも美しい花を咲かせたオニユリです。



(島崎舜次)

## お知らせ

- 9月4日 公園協議会：保全作業（午前中）  
多くの参加をお願いします。  
13：00 協議会打ち合わせ（ふるさと館）  
当日朝から雨の場合、ふるさと館で協議会打ち合わせ（9：00～）。
- 9月11日（日）定例室内例会 10：00～12：00  
できるだけ多くの参加を
- 9月14日（水）惣ヶ池湿地保全作業
- 9月25日（日）公園協議会との合同観察会  
この日はクラブも行いますのでお手伝いをお願いします。